

報道配布資料

平成 24 年(2012 年)8 月 22 日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学 長 えさと けんすけ 江里 健輔	国際文化学 研究科長 すずき たかやす 鈴木 隆泰	国際文化学研究科 教授 みずたに ゆみこ 水谷 由美子	083-928-2550
発表内容の 関係地域	[全県]、岩国、柳井、周南、[山口]、[防府]、宇部、山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏			

1 件 名

「アウリンコ・徳地・タロ」プロジェクト vol.5
CSK13 ファッションショー 「徳地 COLORS」
～和紙と私とつながる着物 Reuse～

2 趣 旨

山口県と山口市の中山間地域活性化を目的とした助成金の支援を受け、企画デザイン研究室が徳地地域の住民との共同事業により、標記のファッションショーを実施します。

今年、山口市徳地出雲地域に新しく創設される「出雲ふるさとさんさ祭り」の会場において、使用しなくなった浴衣や着物を学生が再利用し製作した作品や、徳地の地域資源である和紙を用いた作品を、ファッションショーという形式で発表することで、地域の祭りに話題性を提供します。

また、県立大学の学生モデルに加え、地域の保育園児、小学生、高校生がモデルとしてショーに参画することにより、地域、行政、大学との連携による地域づくりを行います。

3 日 時

平成 24 年 9 月 1 日 (土) 17:15 開演 (ファッションショーは 18:15～19:00)

4 場 所

山口市徳地総合支所 特設ステージ
〒747-0292 山口市徳地堀 1744 番地

5 主 催

山口県立大学企画デザイン室
アート・ディレクター 水谷 由美子 (山口県立大学大学院国際文化学研究科・国際文化学部教授)
研究創作発表 山口県立大学大学院国際文化学研究科 1・2 年生
山口県立大学国際文化学部文化創造学科 3 年生

6 問合先

国際文化学研究科 教授 水谷由美子
083-928-2550
myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

山口県立大学 企画デザイン研究室
「アウリンコ・徳地・タロ」プロジェクト vol.5
CSK13 ファッションショー
徳地 COLORS

～和紙と私とつながる着物 Reuse～

日時：2012年 9月 1日 (土) 17:15開演
場所：山口市 徳地総合支所 特設ステージ
〒747-0292 山口市徳地堀1744番地

入場無料

同日開催 出雲ふるさとさんさ祭り 16:00～
とくぢ花火大会 20:00～



主催 山口県立大学 企画デザイン研究室
協力 出雲ふるさとさんさ祭り実行委員会
とくぢ花火大会実行委員会
徳地観光協会
山口県立大学 東亜大学
後援 山口県 山口市 山口新聞 中国新聞

CSK13 ファッションショー

徳地 COLORS ~和紙と私とつながる着物 Reuse~

昨年、地域活性化を目的としたイベントを徳地で行い、その成果の発表の場として山口県立大学で冬のファッションショーを行いました。本年はエコロジーとサスティナブルの観点から徳地の地域資源である和紙と、徳地地域の方から提供された着物や和紙を一部再利用して服を制作しました。和紙や着物を通して生まれる地域とのつながりから着想を得た作品を徳地独自のカラーとして発信します。皆様、お誘い合わせの上お越し下さい。

17:15~18:15 山口県立大学OBによる
アコースティックギター演奏

森のコンサート



石川 優一 / 山下 勝成

「アートマネジメントによる地域活性化」
松原 直子 (大学院国際文化学研究所 2年)

昨年、山口県立大学企画デザイン研究室では、徳地の地域活性化を目的としたワークショップや作品展を「アウリンコ・徳地・タロ」を中心に行ってきました。今回のファッションショーでは、徳地独自のスタイルを提案することで、新しく創設される、出雲ふるさとさんさ祭りを盛り上げ、徳地のイメージアップを行うことが目的です。

18:15~19:00 CSK13 ファッションショー

徳地 COLORS

~和紙と私とつながる着物 Reuse~



「石風呂ファッション」 杉山 優貴 (文化創造学科4年)

徳地から防府にかけていくつも作られ、今も使われている石風呂は日本の中でも珍しいものです。石風呂は徳地の誇るべき文化の一つであり、石風呂という文化は広く発信されるべきものであります。私は石風呂文化に注目しつつ、普段使いもできる徳地独自のファッションを提案します。



「文化が創る木陰に寄り添う」 栗田 光二 (文化創造学科3年)

徳地の「重源の郷」にみられる伝統的な建造物から着想を得た抽象的な衣服を制作し、さらにそれを「住」の領域で具現化します。間接的に徳地の文化に寄り添い、人々と文化の関係を、再び緊密なものにすることを目指します。合い言葉は「陰」。



「徳地の夏お洒落」 佐藤 亜紀子 (文化創造学科3年)

岩風呂やさんさ祭。伝統文化や豊かな自然に囲まれて、軽快な日々を過ごせたら、心も体も快いものです。そんな日々寄り添う洋服をお届けします。



「KASANEX T-youth」 原田 真衣 (文化創造学科3年)

農作業着からヒントを得て、徳地で暮らす際の若者の一日の生活を服であらわします。また、日本の美意識である襲色目を服に落とし込み、雅な貴族文化と、徳地の豊かな自然を感じられる服づくりを目指します。



「家族の輪」 皆川 未都 (文化創造学科3年)

服によって家族のつながりを実感できるような、ライフスタイルに合った服(エプロン)を提案します。特に徳地の豊かな自然から着想を得て、服のデザインを考えました。親子三代の絆や輪というものを、服を通してお楽しみください。



「帰森(きしん)IV」 浅田 陽子 (大学院国際文化学研究所2年)
—地域資源と植物素材を用いたニットによる服飾造形—

「帰森(きしん)」とは人々が温もりを求めて帰郷するように森に帰ってゆく・・・という意味の造語です。この作品は、森に棲む精霊をイメージし、徳地手漉き和紙とニットとの様々な可能性を追求し、デザインしています。



「徳地手漉き和紙の帽子」 水津 初美 (大学院国際文化学研究所1年)

徳地に古くから受け継がれてきた手漉き和紙を帽子に、と考えました。和紙は通気性、吸湿性、収縮性に優れ、丈夫で紫外線をカットするという特徴を持っています。その特徴を帽子として生かし制作しました。



「袴パンツ 2012」 武永 佳奈 (大学院国際文化学研究所1年)

デザイン源は徳地地域の農業や昔ながらの暖かな生活です。徳地で生まれ、徳地で作られ、徳地から発信されるファッション、袴パンツを中心に今年から活動をスタートした、徳地さんさ工房との協働作品を紹介します。



「ちょうちん」 石川 智香子・岡田 祥実 (文化創造学科3年)

徳地の和紙の原料である三つ又を使用し、光と影を演出します。三つ又が映し出す優しい影と、あたたかい光が徳地の夜を灯します。

Art & Design Direction : 水谷由美子
(山口県立大学国際文化学部文化創造学科
大学院国際文化学研究所 教授)

主催：山口県立大学 企画デザイン研究室
協力：出雲ふるさとさんさ祭り実行委員会
とくち花火大会実行委員会
徳地観光協会
山口県立大学 東亜大学
助成：山口県中山間地域元気創出若者活動支援事業
山口市中山間地域資源付加価値創造支援事業
後援：山口県 山口市 山口新聞 中国新聞



※お車でのお越しの際は花火大会の駐車場をご利用ください。
同日開催 出雲ふるさとさんさ祭り 16:00~
とくち花火大会 20:00~

Graphic design : 石川智香子・岡田祥実